

2019. 5. 25

畑 啓之

「亀になぜ耳があるの？」との小学生の素朴な疑問

確かにこの亀には耳がある。また、この意志の硬い表情はどう見ても亀ではない。胴より下は亀ではあるが、この顔はどこからみても亀ではない。 (兵庫県加古川市上荘町国包)

さて、この亀はいったい何なのか？ 思い当るのは「玄武」である。検索すると確かに似た耳がある亀が出てくる。また、この石碑は「亀の井碑」といい、農業用水路造成の歴史を刻んだものである。「水」に関係もしている。

ここでの結論は、玄武よりヒントを得て作られた亀石としておこう。

下の写真は、

虎ノ門・金刀比羅宮 東京都港区虎ノ門 1-2-7

文政四年（1821年）に奉納された銅製の明神型鳥居。左右の柱上部には四神（四方の守護神）の彫像が付けられています。大変珍しい鳥居です。



玄武(Wikipedia)

玄武は、北方を守護する、水神。「玄」は「黒」を意味し、黒は五行説では「北方」の色とされ、「水」を表す。